

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|---------------|
| 団体名 | グリーフサポート ラル大津 |
| 活動テーマ | 遺族支援 |



<目的等>

「支え・支えられて生きる」をテーマにグリーフを抱える人を支援し、その悲しみに寄り添い、孤立を防ぎ、共に生きることをめざす。世の中全ての方が遺族でありながら、必要な支援を受けられず声を出せずに苦しんでいる人々がいる。支援できる者が無理せず行うことで、グリーフからの再出発が図られるのではと考えた。

<活動の実施方法、内容>

- ・毎月第4土曜日の定例会
- ・年間4回の当事者及び支援者のための講座の開催。がんで妻を亡くされた方からのお話、アートで和らぐグリーフ、自死遺族当事者からのお話、こころと身体に効くヨーガを実施した。
- ・支援者のための研修会への参加、活動を広めるための情報発信。
- ・アウトリーチ活動の要請があり、実施した。

<目的等>

- ・グリーフを抱えている人の悲しみに寄り添い支援することで、当事者は安心して自身のグリーフと向き合うことができるようになった。
- ・大津市の社会福祉協議会と連携し、理解と支援の輪が広がった。
- ・人々の孤立感が深く関係性が薄れてきている今、情報を発信し参加していただくことにより、グリーフサポートの重要性を認識してもらうことが少しずつできてきた。